



第12期 株主通信

中間期

2026年1月1日~6月30日

B U S I N E S S R E P O R T



 日本創発グループ
JAPAN CREATIVE PLATFORM GROUP

We Craft Your Imagination.



目次

P3 株主のみなさまへ

P4 今期の事業概要

P6 事業戦略

P7 新規グループ参画会社紹介

P10 連結業績ハイライト

P12 連結財務諸表

P14 会社情報/株主メモ

お客さまのご要望にお応えし、クリエイティブの制作から配信まで ワンストップのサービスをご提供いたします。

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、株式会社日本創発グループ第12期中間期(2026年1月1日～2026年6月30日)の事業概要につきましてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間における我が国経済は、米国関税政策の一巡による企業業績に与える影響の懸念緩和もあり、製造業における設備投資が増加したことに加え、非製造業の価格転嫁の進展により企業収益が改善し雇用・所得環境が継続的に改善し実質賃金がプラスに転換したことから個人消費が回復傾向となりました。一方、世界経済は、米国の関税強化政策による世界の交易環境の対応の変化が徐々に広がりを見せてはいるものの、長引くウクライナ情勢に加え、中東情勢の緊迫化は全世界のエネルギー価格や石油由来の生産財の高騰リスクとなり、金融資本市場も混乱し物価が上昇するなど、先行き不透明な状況が続きました。

当社企業グループの事業の環境につきましては、電気・ガスの燃料、紙やインクなどを含めた原材料価格は未だ高水準で推移する厳しい状況に加え、原油・有機溶剤の価格上昇による原材料調達の影響を注視しなければならない状況が続きました。一方、インバウンド需要やサービス消費が順調に回復し、企業の広告活動は継続して活性化の動きが見られ、販促ツール・サービスの需要が増加いたしました。

当社企業グループは、お客さまにより付加価値の高いサービスを提供するため、事業環境の変化や事業戦略に基づき将来の成長分野に事業資産を機動的に集中させております。当社企業グループは、企画提案・製造・制作からメディア配信までをトータルでカバーできるユニークな企業体として、クリエイティブサービス事業の領域拡大に取り組んでまいりました。

これらの結果により、当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高は466億6百万円(前年同期比13.4%増)親会社株主に帰属する中間純利益は8億39百万円(前年同期比49.3%減)となりました。

私たちは、今後も社会の変化に柔軟に対応し、「クリエイティブをサポートする企業集団」として、お客さまにとって必要不可欠な存在であり続けたいと思います。



2026年 8月

代表取締役社長 藤田 一郎

今期の事業概要

個性豊かな企業が参画する付加価値創造企業グループ

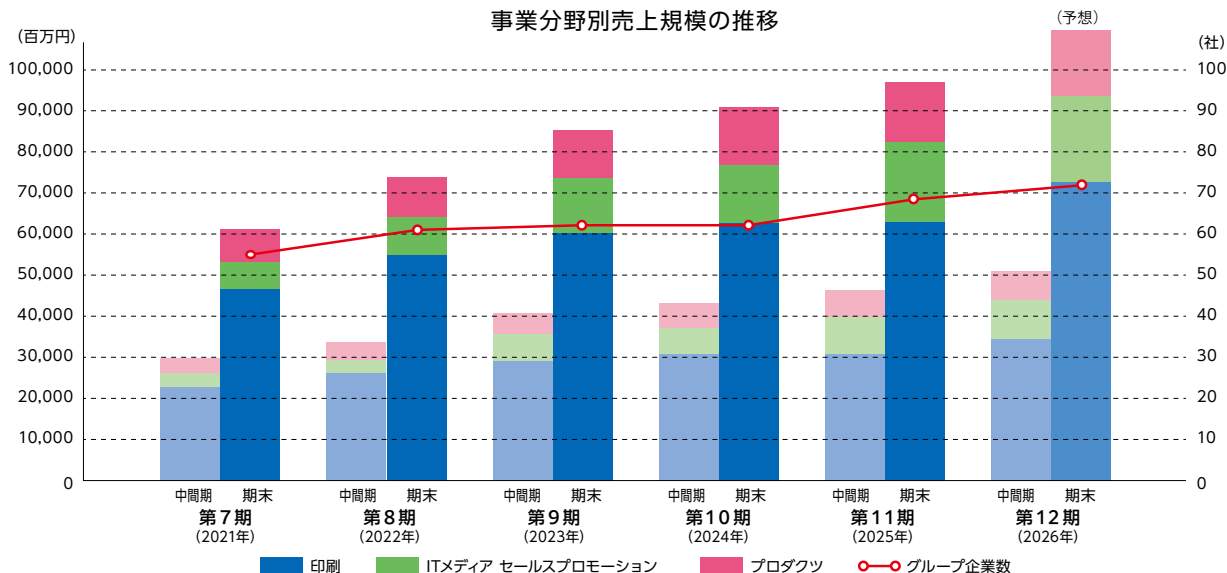
当社グループは、お客さまが求めるクリエイティブを支援することをコア事業とし、印刷関連事業を基盤とし、ITメディア セールスプロモーション事業、プロダクツ事業など、お客さまの目的に応じて、さまざまな手段・場所等におけるサービスをご提供するために、事業提携やM&Aを積極的に活用して成長を続けています。エネルギー効率や、生産性の向上を目的とした生産設備への投資に加えて、昨今のAIをはじめとした先端分野の技術活用により人的資本の活性化と拡充を進めています。

国内の印刷需要の縮小トレンドに反比例するように、表現力をより豊かにするための加工を施した印刷物の需要は伸びており、また、その加工技術は一層高度化しています。多様な素材への印刷技術や、パッケージへの加工などのご要望に応えるため、当社グループでは印刷関連事業への投資を積極的に行っています。具体的には印刷

機や関連機器を積極的に入れ替えるとともに、既存グループにはない製造技術およびお客さまへのアプローチを強化するために、個性豊かな新規企業にグループへ参画いただいています。

当中間連結会計期間において、パッケージ事業をベースに、ディスプレイ・紙什器事業を発展させ、紙製パッケージや販促POP・ディスプレイに特化して、企画デザインから量産納品まで一貫体制を持つ株式会社新和製作所、食品や医薬品をはじめとする多様な分野に向けて高品質な紙器パッケージの企画・設計・製造・販売に取組み、高い技術力を活かし顧客の成長に寄り添い、強い信頼関係を築き、価格競争力に左右されない独自の提案力と、長年にわたり培われた経験および強固な顧客基盤、自社一貫生産体制や高度な品質管理のもとで製品を提供し事業を展開するエクセルパック・カバヤ株式会社が連結子会社として参画いたしました。

事業分野別売上規模の推移



※グラフの値はグループ各社の売り上げを単純合計したものです。

日本ならではの表現力を世界中に広めたい!

当社グループは、「クリエイティブをサポートする企業集団」を標榜し、クリエイティブサービス事業の拡大により企業価値の向上を目指しています。クリエイティブとは、お客さまがお求めになられる「見る人、触れる人」が心動かされる表現力を実現するさまざまな手段ツールのことです。印刷関連事業を祖業としているため、売上高の約68%が印刷関連事業となります。当社企業グループは、印刷技術に加え、プロモーション企画、IT関連技術、メディアに加え、モノづくりに関連する企業43社^{※1}による企業体です。クリエイティブに関連する企業グループとして大規模ではないものの、専門性の高い個性豊かな企業が互いに協力することで、ワンストップで多彩なソリューションをご提案・実現することができる業界でもユニークな存在です。

近年、外国から多くの旅行客が来日され、年間来日外国人の数^{※2}は、2000年の475万人から2013年には1,013万人となり、コロナ禍が終息した2023年には2,506万人、2025年には3,687万人となりました。2026年は6月までに昨年とほぼ同程度の2,008万人が来日されていますが、大幅に減少している中国を含むアジア圏のみならず、欧州や中南米、中東地域からの来日客が増加し、地域が広がっているのが本年の特徴です。来日客の多くが訪れる観光地においては、オーバーツーリズムなどの課題もありますが、日本の風景や文化に対する関心が高いことの表れと感じています。

当社グループに2025年に参画した鈴木松風堂は京都市にて創業して以来130余年の企業であり、紙筒の高さ太さに加え、表装紙に工夫を施し丸型のパッケージをご提供しています。古くから和菓子を代表とする日本のお菓子には食文化を表現する

パッケージが使われることが多く、紙を加工したパッケージの需要は拡大すると考えています。

また、来日外国人が目にするレストランや、土産物店の店頭にある食品サンプルは、日本独自のディスプレイであり、長い期間劣化することなく展示することが可能です。当社グループに2025年に参画した日本サンプルは洋菓子を中心としたサンプルを製造しています。また、2026年に参画したイムラサンプルはお弁当やおせち料理に加え、和菓子のサンプルを得意としています。サンプルそのものを土産物として購入される外国人も増えており、日本独自の文化の一つであるサンプルを使った表現力は、日本以外の世界的な需要も期待できる可能性がある商材であると感じています。

※1 2026年6月30日現在の連結子会社43社非連結子会社19社及び
関連会社10社の合計は72社

※2 出典：国土交通省 観光庁 日本政府観光局発表資料



拠点の再編

M&A等によりグループに新たな企業が参画することで、技術の強化やアプローチできるお客さまが広がるだけでなく、物理的な拠点が広がることにもなります。当社グループは、社員の交流や、グループ内企業での製造協力を進め、企画開発力の活性化にもつながることから、拠点の集約や再編を常に検討しています。

当中間会計期間において、関東地区・関西地区における印刷製造拠点の集約に加え、営業拠点の再編・統合も含めた組織強化を進めました。

IPに関連するキャラクターCGや、ライトノベル作家の輩出育成

を行うクラウドゲートと、化粧品販売のノベルティとしてポーチなどの企画製造を行う कोरोレは、IPを活用したプロダクトを企画製造販売するfunboxとメディコス・エンタテインメントが入居する東京都千代田区岩本町のビルに移転をしております。

また、編集プロダクションのPlayce、コミュニケーションデザインなどを手掛けるジー・ワンとDTPオペレーションのアド・クレールの3社はPlyaceCUBEとして7月1日の合併及び事業統合をもって東京都千代田区神田神保町にて同じフロアでの業務を開始しました。

日本創発グループのSDGsへの取り組み

記録的な猛暑や豪雨に加え、地震などの自然災害も多く発生しています。気象庁より開示されている年間降水量は、2020年以降、30年平均降水量より増える傾向にあります。また、日本の100年あたりの気温上昇は+1.44℃とアジア地域において突出しており、特に2023年は+1.29℃ 2024年は+1.48℃ 2025年は+1.23℃と高い水準にあり、環境負荷軽減に対する取り組みの重要性が増えています。

印刷関連事業およびITメディア セールスプロモーション事業においては、2021年より事業活動に関するCO₂排出量を継続して記録してまいりました。2026年におけるCO₂排出量は、企業グループ内での事業所統合や内製化及び省力化を進める設備投資を進めたことによりScope1(自社)とScope2を大幅に減らした一方、業客の拡大によりScope3は増加したものの前事業年度と比較して約2%減少しました。

	Scope1	Scope2	Scope3	合計	前年同期比	前年同期 合計(t-CO ₂)
2026年1月～6月	2,112	8,568	100,234	110,914	98%	112,617

※日本創発グループ 印刷事業・プロダクツ事業 15 社

- Scope1 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出
- Scope2 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
- Scope3 上記以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)

最新の機械への積極的な設備投資により、省エネが実現し、CO₂削減にも効果がありました。

専門性の高い企業の参画で表現領域が拡大しました

2025年10月29日に2社のユニークな企業がグループに参画しました。奈良県大和郡山市から世界に向けて製品を出荷する紋郎美術工房は、繊維強化プラスチックや繊維強化石膏を用いて大型のモニュメントなどの造作物や、軽く強度がある特性を活かした建築装飾品などを製造しています。名古屋市日本サンプルは、洋菓子を得意とする食品サンプルを製造しています。4月9日に和菓子やお弁当おせち料理を得意とする大阪市のイムラサンプルが参画しました。日本発のクリエイティブを世界に向けて発信する可能性を追求できる企業となります。

また、1月7日に埼玉県川越市に本社・埼玉県内数か所に工場及び倉庫がある新和製作所と、4月3日に岡山市に本社・工場があるエクセルパック・カバヤが当社グループに参画しました。

両社とも紙製パッケージの製造を行っており、東日本と西日本での紙製パッケージの製造拠点が当社グループに加わったこととなります。パッケージは印刷物の加工品として比較的安定的な需要があると考えています。

いずれの企業も、当社グループのお客さまとの関連性も高く、総合的なご提案をしながら、新たなクリエイティブの付加価値を実現すると期待しています。



株式会社紋郎美術工房

FRP・GRGを使用した造形品の製作(設計・製作・施工・デザイン)

本社・工場／奈良県大和郡山市外川町245-7

<https://www.monroart.co.jp/>

非連結子会社 議決権比率：100%

商業施設やビルなどの建築装飾品や照明、大型から小型のモニュメントなど、その場に応じた特注製品をFRP(繊維強化プラスチック)やGRG(繊維強化石膏)素材を用いて製作している“モノづくり”の会社です。

設計から製作、施工まで行い、完成された製品を目に

した時の感動はひとしおです。豊臣秀長ゆかりの地『大和郡山市』で創業から50年以上の実績を積み重ね、時代と共に変化する“モノづくり”に日々挑戦しています。

新規グループ参画会社紹介



High Quality Sample



株式会社 **日本サンプル**

株式会社日本サンプル

食品サンプル製造・販売

本社・工場／名古屋市中区愛知町30-10

<https://www.nihon-sample.co.jp/>

非連結子会社 議決権比率：100%

食品サンプルの製造・販売を中心に、見た人の心を惹きつける販促ツールを手がける企業です。主にスイーツや贈答品の魅力を引き立てる表現づくりを大切に、「おいしそう」「食べてみたい」と感じてもらえる高品質なサンプルを追求しています。

素材選びや品質管理を丁寧に行い、長く安心して使える信頼性の高い製品をお届けしています。



 **イムラサンプル**

株式会社イムラサンプル

食品サンプル製造・販売

本社・大阪営業所・工場／大阪市住吉区万代6-19-19

<https://imura-sample.co.jp/>

非連結子会社 議決権比率：100%

飲食店のショーウィンドウで、道行く人の目を惹きつける本物そっくりの食品サンプル。その美しさに誰よりも魅了されているのが、私たちイムラサンプルの職人集団です。一つひとつの食材を観察し、生み出す姿は料理人そのものの。

何でもデジタルで作れてしまう今の時代とは逆行しているかもしれませんが、私たちは手間暇かけて、一つひとつの「おいしい」に全力で向き合っています。



2026年6月連結

エクセルパック・カバヤ



エクセルパック・カバヤ株式会社

板紙印刷・パッケージ製造・包装資材販売

岡山本社・工場／岡山市中区雄町394番地12

<https://www.exl-kabaya.co.jp/>

連結子会社 議決権比率：100%

エクセルパック・カバヤは、「“欲しい”を“カタチ”にする魅力ある企業へ」というビジョンのもと、お客様の想いを形にし続けてきました。パッケージは単に包むものではなく、価値を伝え、人の心を動かす存在です。だからこそ企画・製造・販売を一体で磨き、本質的な価値づくりに挑戦し続けています。

変化の激しい時代だからこそ、DXや生産性向上、新たな領域への挑戦を進めながらも、「仲間を大切にする」「誠実である」という原点を大切にしています。一人ひとりが主体的に成長し、“鼻先一寸でも先へ”進み続けることで、社会に必要とされる企業であり続けます。



2026年3月連結



株式会社新和製作所

紙製パッケージ・販促POP・ディスプレイの
企画デザイン、印刷、製造

本社・工場／埼玉県川越市下赤坂736-2

<https://www.shinwaseisakusyo.co.jp/>

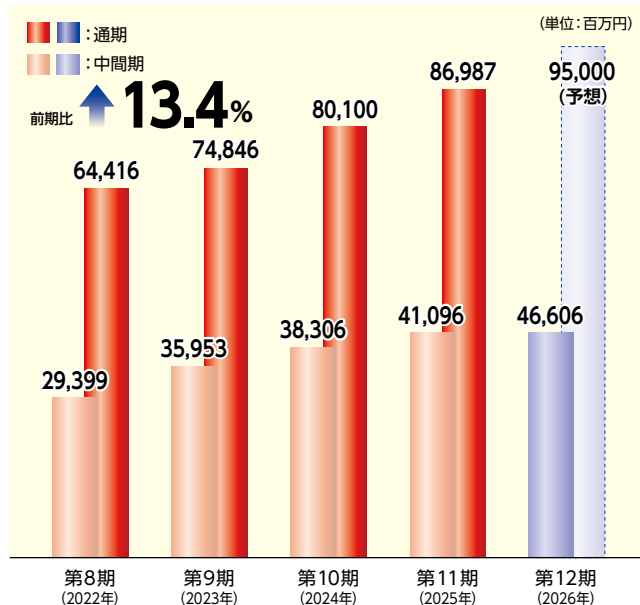
連結子会社 議決権比率：100%

株式会社新和製作所は、紙製パッケージや販促POP・ディスプレイの企画デザインから量産納品まで一貫体制を持った印刷会社です。営業力、企画力、設計力、生産力の4つの最大の武器を集結した総合力で納品までスムーズに対応いたします。埼玉の自社工場では、多様なニーズに

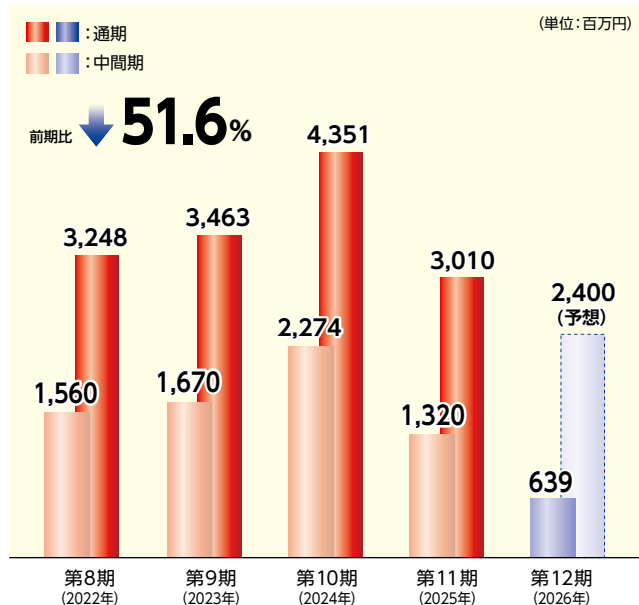
対応できるように整えた設備で、確かな品質で速やかに納品いたします。

連結業績ハイライト

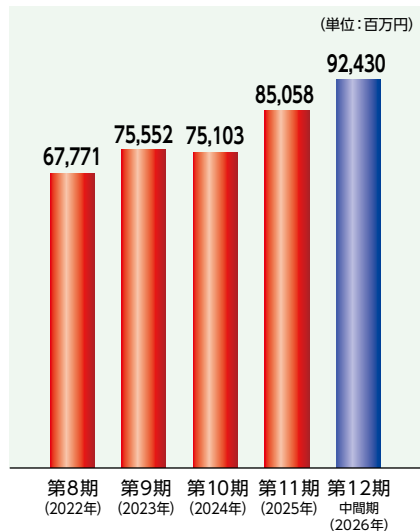
◆ 売上高



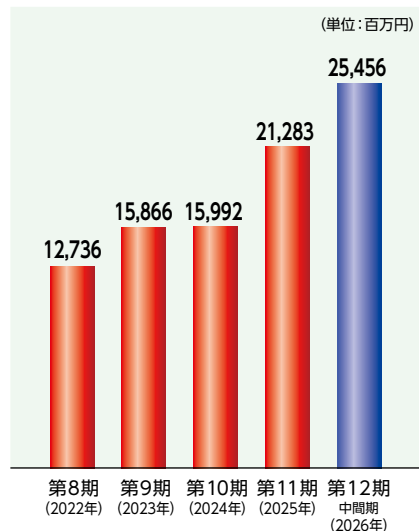
◆ 営業利益



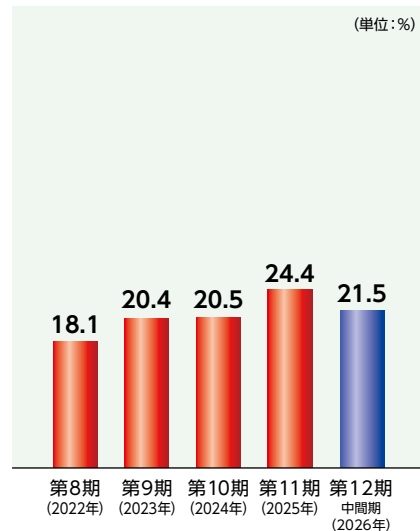
◆ 総資産



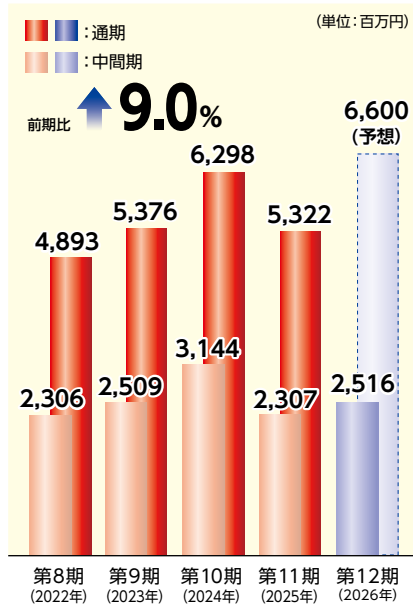
◆ 純資産



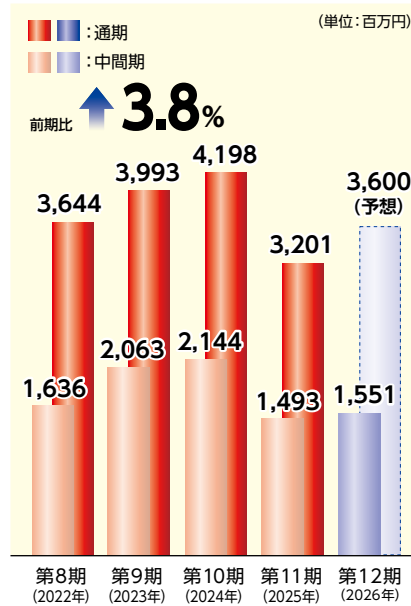
◆ 自己資本比率



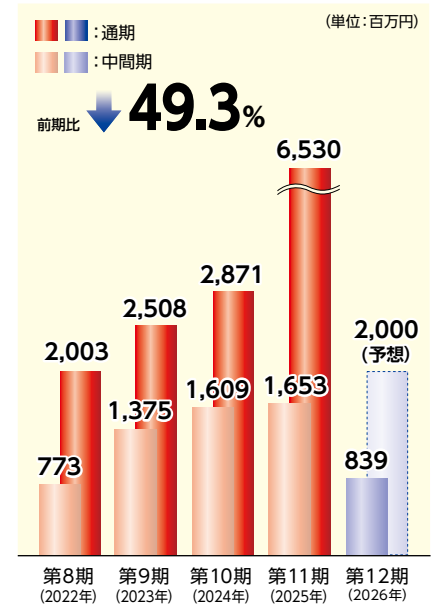
◆ EBITDA



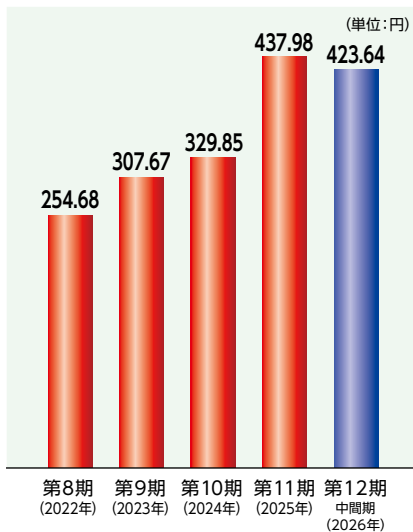
◆ 経常利益



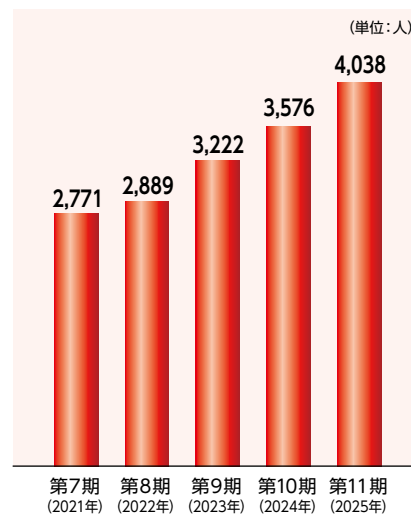
◆ 親会社株主に帰属する当期純利益



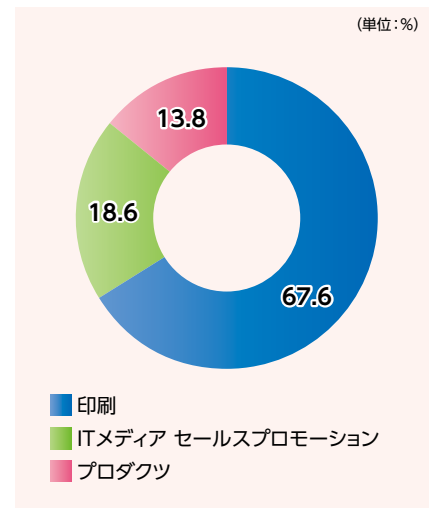
◆ 1株当たり純資産



◆ 従業員数



◆ 売上構成比



連結財務諸表

◆ 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前 期 2025年12月31日現在	当 期 2026年6月30日現在	科 目	前 期 2025年12月31日現在	当 期 2026年6月30日現在
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	34,733	37,974	流動負債	38,925	44,117
現金及び預金	11,511	14,884	買掛金	4,177	4,540
受取手形、売掛金及び契約資産	14,332	12,110	短期借入金	23,000	27,000
その他	8,888	10,979	その他	11,748	12,577
固定資産	49,415	54,456	固定負債	24,848	22,856
有形固定資産	35,052	39,667	社債	3,749	3,499
建物及び構築物	8,931	11,038	長期借入金	17,225	15,075
機械装置及び運搬具	4,956	8,276	退職給付に係る負債	47	210
土地	17,499	17,960	その他	3,826	4,072
建設仮勘定	3,121	1,785	負債合計	63,774	66,974
その他	545	607	(純資産の部)		
無形固定資産	1,597	2,097	株主資本	20,477	19,564
のれん	662	1,187	資本金	100	100
その他	934	910	資本剰余金	4,870	4,834
投資その他の資産	12,764	12,690	利益剰余金	17,099	16,528
投資有価証券	8,664	8,399	自己株式	△ 1,593	△ 1,898
その他	4,099	4,291	その他の包括利益 累計額合計	265	269
資産合計	84,148	92,430	非支配株主持分	541	5,622
			純資産合計	21,283	25,456
			負債及び純資産合計	85,058	92,430

◆ 中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2025年1月1日から 2025年6月30日まで	2026年1月1日から 2026年6月30日まで
売上高	41,096	46,606
売上原価	28,368	32,551
売上総利益	12,728	14,055
販売費及び一般管理費	11,407	13,415
営業利益	1,320	639
営業外収益	741	1,523
営業外費用	567	611
経常利益	1,493	1,551
特別利益	1,454	277
特別損益	527	183
税金等調整前中間純利益	2,420	1,645
法人税等	757	753
非支配株主に帰属する中間純利益	9	52
親会社株主に帰属する中間純利益	1,653	839

◆ 中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2025年1月1日から 2025年6月30日まで	2026年1月1日から 2026年6月30日まで
中間純利益	1,662	891
その他有価証券評価差額金	49	4
繰延ヘッジ損益	△ 1	0
その他	0	0
その他の包括利益合計	48	5
中間包括利益	1,711	897

◆ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2025年1月1日から 2025年6月30日まで	2026年1月1日から 2026年6月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,393	5,616
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,958	△ 7,416
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,420	4,687
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 2	1
現金及び現金同等物の増減額	1,853	2,887
現金及び現金同等物の期首残高	12,232	11,472
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	316	511
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	△ 3
現金及び現金同等物の中間期末残高	14,402	14,868

◆ 中間連結株主資本等変動計算書

(2026年1月1日から2026年6月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自己株式	株主資本 合 計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 合 計		
当期首残高	100	4,870	17,099	△ 1,593	20,477	269	△ 3	265	541	21,283
当中間期変動額										
剰余金の配当			△ 1,433		△ 1,433					△ 1,433
親会社株主に帰属する中間純利益			839		839					839
連結範囲の変動		△ 18	22		4					4
株式交換による増加		18		△ 304	△ 286					△ 286
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△ 35			△ 35					△ 35
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)						2	0	3	5,081	5,085
当中間期変動額合計	-	△ 36	△ 571	△ 304	△ 912	2	0	3	5,081	4,172
当中間期末残高	100	4,834	16,528	△ 1,898	19,564	271	△ 2	269	5,622	25,456

会社情報／株主メモ

■ 会社概要

商 号 株式会社日本創発グループ
英 文 商 号 JAPAN Creative Platform Group Co., Ltd.
事 業 内 容 傘下グループ会社の経営管理およびそれに付帯する業務
設 立 年 月 日 2015年1月5日
本 社 所 在 地 〒110-0005 東京都台東区上野3-24-6
資 本 金 100,000,000円
決 算 期 12月31日
会 計 監 査 人 PwC Japan有限責任監査法人
取引金融機関 みずほ銀行 三菱UFJ銀行 三井住友銀行
連結従業員数 4,038名(2025.12.31時点) ※臨時雇用者は含まれておりません。
顧問弁護士 荒山國雄法律事務所

■ 株式情報

証 券 コ ー ド 7814
上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード市場
発行可能株式総数 160,000,000株
発行済株式総数 51,000,000株
1単元の株式数 100株
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行
決 算 期 12月31日
定 時 株 主 総 会 3月

■ 役 員

代表取締役社長 藤田 一郎
取 締 役 鈴木 隆一
取 締 役 佐々木 裕彦
取 締 役 井戸 剛
取締役 監査等委員 瀬島 仁志(社外)
取締役 監査等委員 寺田 正主(社外)
取締役 監査等委員 篠崎 祥子(社外)
取締役 監査等委員 菅波 希衣子(社外)
取締役 監査等委員 儘田 佳代子(社外)
取締役 監査等委員 山下 あや(社外)
取締役 監査等委員 三好 真由美(社外)
取締役 監査等委員 濱谷 美穂(社外)

株主メモ

事 業 年 度	1月1日から12月31日まで
定 時 株 主 総 会	毎年3月
剰余金の配当の基準日	3月31日、6月30日、9月30日、12月31日
公 告 方 法	電子公告 URL: http://www.jcpbg.co.jp/ ただし電子公告による公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同事務連絡先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-232-711(フリーダイヤル)

ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新のニュースや技術情報など、
当社企業グループをご理解いただくためのさまざまな情報を提供しております。

URL <https://www.jcpbg.co.jp>

日本創発グループ

検索



Vision

Mission

Value

ビジョンとミッションの下、
日本創発グループが
お客さまや社会に提供する価値

私たちは、良き市民として、お客さま、投資家、協力企業、業界、社員、さらには地域社会や環境に対する責任を、誠意をもって、また積極的に果たしていきます。

①	②	③	
	④		
⑤		⑥	⑦
		⑧	

- ①環境にも配慮しながら、食品関係をはじめとするさまざまなシールを、高い品質で印刷しています。(株式会社サンメック)
- ②化粧品等のディスプレイ・紙什器をメインに展開。設計・印刷はもちろん、企画からワンストップで対応可能です。
(株式会社新和製作所)
- ③和洋中間ず、食品サンプルを作っています。目指しているのは、「本物を超えるものづくり」です。(株式会社イムラサンプル)
- ④「おいしい」と思わせるサンプルを製作。大ぶりのケーキは、細かいデコレーション部を丁寧に作り上げています。
(株式会社日本サンプル)
- ⑤食品パッケージなどの厚紙印刷をメインに、魅力的な箱作りをトータルでサポートしています。(エクセルパック・カバヤ株式会社)
- ⑥多様な和雑貨を販売する、京都の店舗「笑風(しょうふう)」。お土産はもちろん、日常使いできる商品も生み出しています。
(株式会社鈴木松風堂)
- ⑦2D・3D内部レーザー加工等を駆使して、クリスタル記念品を製作。UVカラー加工も可能です。(横浜マテリアル株式会社)
- ⑧ガラス纖維で補強したプラスチック等を使用し、設計から製作、加工までを一貫して行っています。(株式会社紋部美術工房)



SIAAマークはISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

株式会社 日本創発グループ

〒110-0005 東京都台東区上野3-24-6

TEL.03-5817-3061

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。